



小野寺 静子 さん

青森県生協連常務理事

2期4年間理事をやらせてもらいました。2011年の東日本大震災の年でした。

震災の後は新幹線も徐行することが多く、今から思うと随分時間をかけて渋谷に行ったように思います。渋谷は新人理事の私には本当に遠く感じました。

地連の運営委員の時は、資料の文章で判断して「日本生協連には組合員のくらしが見えているのか？」疑問に感じながら参加していたように思います。

日本生協連の理事になり、様々な調査や組合員の声を受け止めていることや、組合員の声で商品の改善等を知ることが沢山ありました。

使いやすくなったこと等、もっと会員生協にお知らせし、利用につなげていきたいものです。

生協はコマーシャルをしない、組合員が知らせ・広げていくものと思っていました。

組合員の声で実現したコマーシャルがコープ商品をさらにより多くの国民の身近な存在になり、加入につながっていると思います。次のコマーシャルを楽しみにしている組合員さんの声も聞きます。

生協運動も変わったと思いますが 基本の考え方を変えないで、組合員の声でどんどん変えてわかりやすい生協であってほしいものです。

4年間北海道～沖縄まで多くの方々との出会いが、大変勉強になり私の財産になり、会員生協の運動にも活用させてもらいました。

特に組合員理事の皆さんとの懇談会は楽しく学ぶことが出来ました。

- 日本生協連におねがいします。コープ商品が変わるときや食品添加物が変わるとき、特に運動商品が変わるときは「プロセス」を知らせて下さい。

この間の経験を活かし「平和とよりよい生活」をめざし、これからも青森で生協運動頑張ります。

お世話になったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。